



かいき 皆既月食が見られる

一年のうちでもっとも大きく見られる満月をスーパームーンと呼んで親しまれていますが、今年5月26日の満月がこれにあたります。

この満月が今年には皆既月食にもなり、しかも夕方（じかんたい）の時間帯から見られますので、観察（かんさつ）に好都合（こうつごう）といえます。この日は、東の空でこの皆既月食を見ることができ、午後6時39分に月が地平線（のぼ）から昇ってきます。その後、午後6時44分に月の一部（か）が欠け始め、欠け具合がだんだんと進んでいきます。月の全体が欠けて見えるようになる皆既月食が始まるのは午後



過去に見られた皆既月食の写真

後8時9分からで、約20分間、皆既月食の状態（じょうたい）が続きます。皆既月食（しゅうりょう）が終了すると、また部分月食になり、月食が終わるのは午後9時52分となります。

月はなぜ欠けて見えるのでしょうか？

月食の原理（せつめい）を説明（て）しますと、太陽（はんたいがわ）に照らされた地球（かげ）には太陽の反対側に影（かげ）ができますが、その影の中に月が入り込む現象（げんしょう）が月食なのです。月が部分的に影の中に入っている様子は部分月食といい、月全体が地球の影に入ってしまう現象を皆既月食といいます。

皆既月食では月が暗く見え、色は赤茶色のくすんだ色に見えます。皆既月食中の月の明るさは、とても暗く見える時とやや明るく見える時、また赤っぽく見える時とほとんど暗くて色がわかりにくい時があります。今回の皆既月食はどんな色でどのくらい暗く見えるのか、ぜひ自分の目でたしかめてみましょう。

（解説員：田中 千秋）

月食の始まり	午後 6時44分
皆既月食の始まり	午後 8時 9分
皆既月食の中心	午後 8時19分
皆既月食の終わり	午後 8時28分
月食の終わり	午後 9時52分